兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	全員
教科書・副読本	『精選論理国語』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 **思考力・判断力・表現力** 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを深めることができるようにする。 **主体的に学習に取り組む態度** 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	**知識・技能** 定期考査・課題考査 指名音読・発問に対する返答 **思考力・判断力・表現力** 定期考査・課題考査 発問に対する返答 発表・報告 **主体的に学習に取り組む態度** 授業態度・提出物・小テスト・課題考査 課題・発表などへの取り組み状況

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	① 学ぶということと ・学問の発見　広中平祐	・対比表現や具体例に注意し、意味段落の持つ役割を理解する。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、筆者の考え方を学ぶ。
	② 具体と抽象 ・「具体」から「抽象」へ　森博嗣	・筆者の主張を踏まえ、事物を抽象的にとらえることの利点を考える。 ・文章の論理展開や表現を読み取り、自己の考え方を広げる。
	・手の変幻　清岡卓行	・文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方を理解する。
2学期	③ 情報と社会 ・疑似群衆の時代　港千尋	・情報を重要度や抽象度によって階層化して整理することで、文章の内容の理解を深める。 ・論理の展開を的確に捉え、論点を明確にする。
	④ 近代と現代 ・未来世代への責任　岩井克人	・筆者の主張とその前提や反証などの文章構成や論の展開を把握する。 ・環境問題について、筆者の意見を踏まえ、自分の考えを深める。
	⑤ 普遍的な言葉 ・国境を越える言葉　長田弘	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・文章の論理を把握し、言葉のもつ「普遍性」について自己の考えを深める。
3学期	⑥ 思考の枠組み ・野生の「クジラ」と人間の「鯨」　関洋子	・本文の構成を意識し、自然の「普遍的価値」と「多元的価値」と筆者の考える「環境倫理」「環境道徳」の内容を理解する。 ・筆者が危惧する「食」について考察し、自己の考えをまとめる。
	⑦ 近代と現代 ・科学・技術の歴史の仲での社会　村上陽一郎	・本文の内容や論理の展開を捉える。 ・科学、技術の歴史を読み取り、科学と社会の関わり方について自分の考えを深める。
	⑧ 考えの表出 ・「いき」の美学　尼ヶ崎彬	・文章の論理展開や表現を踏まえ、筆者の述べる「いき」についての理解を深める。 ・日本人の美意識についての自分の考え方を論述する。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年全員（理系、文系、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	全員
教科書・副読本	『文学国語』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 文学的な文章を読み、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 **思考力・判断力・表現力** 文学的な文章について理解を深め、考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 **主体的に学習に取り組む態度** 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	**知識・技能** 定期考査・課題考査 提出物 小テスト **思考力・判断力・表現力** 発問評価・指名音読 グループワーク・発表・報告 **主体的に学習に取り組む態度** 授業態度 振り返りシート

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	『鍋セット』 角田光代 『山月記』 中島敦 『人虎伝』李景亮 短歌 俳句	・作品の内容を理解し、登場人物の心情を読み取る。 ・本文全体から、虎になる前の主人公の人柄を整理し、文章でまとめる。 ・主人公は何故自分が虎になったと考えているのかをまとめる。 ・作者がこの作品を人間が虎になるという設定にしたのはなぜかを考察する。 ・『山月記』と『人虎伝』の内容の違いを読み取る。 ・句切れやリズムに注意しながら鑑賞する。 ・それぞれの短歌、俳句で工夫された表現を確認し、感動の中心を考察する。 ・鑑賞文の作成、短歌俳句の作品創作をする。
２学期	『山椒魚』 井伏鱒二 『文学のふるさと』 坂口安吾 『こころ』 夏目漱石 『現代日本の開化』 夏目漱石	・山椒魚の心情変化をまとめる。 ・作品内容をふまえて、登場人物の考え方や行動に対する感想を話し合う。 ・本文に挙げられた物語について、筆者の注目する点を読み取る。 ・筆者の主張を読み取り、まとめる。 ・主人公の心情を整理し理解する。 ・作品の主題を考察し、これまでの学習を生かして話し合う。 ・『こころ』と講演録からうかがえる明治の時代性を考察する。
３学期	『永訣の朝』 宮沢賢治 『水仙』 太宰　治	・詩歌を読み、言葉に想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 ・文章の構成や展開、表現の仕方に注目し、解釈の多様性について考察する。 ・作品展開を踏まえて、主人公の行動の理由をまとめる。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年文系および国際教養コース選択者

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	全員
教科書・副読本	『古典探究』（第一学習社）、『新訂版正しく読み・解くための力をつける古典ステップ２』（数研出版）、『Key & Point　わかる・読める・解ける古文単語330三訂版』（いいずな書店）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 古典を読むために必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 **思考力・判断力・表現力** 古典作品の内容理解を深め、考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。 **主体的に学習に取り組む態度** 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	**知識・技能** 定期考査・課題考査 提出物 小テスト **思考力・判断力・表現力** 発問評価・指名音読 グループワーク・発表・報告 **主体的に学習に取り組む態度** 授業態度 振り返りシート

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	古今著聞集 「小式部内侍が大江山の歌の事」 枕草子 「すさまじきもの」 故事・寓話 「推敲」「知音」 伊勢物語 「初冠」「渚の院」	・説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・登場人物の美意識や感性を理解する。 ・当時の宮廷での生活や文化を学ぶ。 ・作者の考え方を理解し作品の趣旨を読み取る。 ・古典文法の理解を深める。 ・句法の知識を身につけ読解力を高め、話の展開を読み取る。 ・疑問形・否定形・使役形・限定形の句法を学ぶ。 ・登場人物の行動や心情の変化に注目し物語の内容を読み取る。 ・助動詞や敬語の用法、和歌の修辞を理解する。
２学期	源氏物語 「光源氏の誕生」 「若紫」 更級日記 「門出」 「源氏の五十四巻」 史記 「鴻門之会」 「四面楚歌」 名家の文章「雑説」	・『源氏物語』への理解、興味関心を高める。 ・当時の宮廷での生活や置かれた状況を理解し、登場人物の心情を読み取る。 ・敬語の用法を習熟し、人物関係の理解を深める。 ・作者の言動に注目し、心情の変化を読み取る。 ・平安時代での物語の位置づけや、古典常識を学ぶ。 ・古代中国の歴史や登場人物の魅力を味わう。 ・使役形・反語形・受身形・抑揚形・仮定形の句法を学ぶ。
３学期	平家物語 「忠度の都落ち」 大鏡 「花山天皇の出家」 「肝試し」 漢文諸家の思想 「論語」「孟子」 「荀子」「老子」	・軍記物語の特徴や、独特のリズムを理解する。 ・話のおもしろさ、登場人物の魅力を味わう。 ・登場人物の人間関係や心情を読み取り、登場人物の魅力を理解する。 ・貴族社会における身分関係を理解し、古典知識を身につける。 ・儒家や道家の思想を理解する。 ・表現の巧みな比喩に注目し、内容を読み取る。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年全員（理系、文系、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス（新カリ用）

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	全員
教科書・副読本	『新地理総合』（帝国書院）、『フォトグラフィア地理図説』（東京法令出版）、『地理総合演習ノート』（啓隆社）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 我が国及び世界の生活・文化の地域的特色や防災、地域的・地球的課題への取り組みなどに関して理解すると共に調査や諸資料から情報を適切に調べる技能を身に付ける。 **思考力・判断力・表現力** 現代世界の地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、それらを基に議論したりする力を養う。 **主体的に学習に取り組む態度** 現代世界の地理的諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする自覚と資質を養う。	**知識・技能** 定期考査 提出物 小テスト **思考力・判断力・表現力** 発問評価・グループワーク・発表・報告 **主体的に学習に取り組む態度** 授業態度 提出物

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第１部地図でとらえる社会 第１章　地図と地理情報システム １節　地球上の位置と時差 ２節　地図の役割と種類 第２章　結びつきを深める現代社会 １節　現代社会の国家 ２節　グローバル化の世界	地図の役割や有用性を理解すると共に、位置や分布などに着目して地図やGISの活用方法について考える。 国際社会における国家の役割を理解すると共に、位置や分布などに着目しながら地域間の様々な相互関係について考える。 様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。
2学期	第２部国際理解と国際協力 第１章　生活文化の多様性と国際社会 １節　世界の地形と人々の生活 ２節　世界の気候 ３節　世界の言語・宗教 ４節　歴史的背景 ５節　世界の産業	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境に影響を与え、多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 場所や人間と自然の関わりなどについて着目して、世界各地の生活文化の特徴を理解し、その多様性の背景や変化の理由について考える。
3学期	第２章　地球的課題と国際協力 １節　複雑に絡み合う地球的課題 ２節　地球環境問題 ３節　資源エネルギー問題 ４節　人口問題 ５節　食料問題 ６節　都市・居住問題	他地域との結びつきや地域の特徴などに着目しながら、持続可能な社会をつくるために、今後どのような取り組みが必要か考える。 現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的の考察し表現する 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

履修条件・	文系、理系、ＬＡＣ全員履修。

注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年全員（理系、文系、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	３単位	学年	２年	履修対象	文系・ＬＡＣ選択
教科書・副読本	『日本史探究』（実教出版、日探702）、『図説日本史通覧』（帝国書院）、『新詳述日本史史料集』（実教出版）、『日本史重要語句CheckList』（啓隆社）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 地理的条件や世界の歴史と関連づけて歴史の展開を総合的に理解するとともに、資料から情報を適切・効果的に調べまとめる技能を身につける。 **思考力・判断力・表現力** 事象の意味や意義、文化の特色などを時期や年代、相互の関連、現在とのつながりなどに着目して多面的に考察したり課題を把握し解決を構想する力、考察などしたことを説明・議論したりする力を養う。 **主体的に学習に取り組む態度** 歴史の展開に関わる諸事象を主体的に探究し、文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。	**知識・技能** 定期考査・課題考査・小テスト・提出物・討議・発表など **思考力・判断力・表現力** 定期考査・課題考査・小テスト・提出物・討議・発表など **主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、提出物・討議・発表など

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	［１］原始・古代の日本と東アジア 1 日本文化の曙 2 歴史資料と原始・古代の展望 3 ヤマト政権の成立と古墳文化 4 律令国家の形成 5 古代の国家・社会の変容 ［２］中世の日本と世界 1 荘園公領制の成立と院政	・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成，原始社会の特色を理解し、多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現する。 ・考古資料の読みとりについて考える ・古代の政治・社会や文化の特色を理解し、古代の国家の形成過程について，多面的・多角的に考察し，表現する。 ・律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に中国大陸・朝鮮半島との関係、影響などにも着目して，主題を設定し政治・社会や文化の特色を理解する。 ・貴族政治の展開，平安期の文化，地方支配の変化や武士の出現などを基に，律令体制の再編と変容，古代の社会と文化の変容を理解し、考察・表現する。 ・貴族政治の変容と武士の政治進出，土地支配の変容などを基に，東アジアとの関わりなどにも着目して、古代から中世への時代の転換を理解し、考察・表現する。
2学期	2 歴史資料と中世の展望 3 中世の国家・社会の展開 4 中世の国家・社会の変容 ［３］近世の日本と世界 1 東アジア世界の変容と天下統一	・荘園に関する資料を活用して中世の特色について考える ・武家政権の成立と展開，産業の発達，宗教や文化の展開などを基に，武家政権の伸張，社会や文化の特色を理解し、考察・表現する。 ・武家政権の変容，村落や都市の自立，多様な文化の形成などを基に社会と文化の特色を理解し、中世の国家・社会の変容について理解し，多面的・多角的に考察・表現する。 ・織豊政権の政治・経済政策などを基に，時代の転換を理解し、考察・表現する。
3学期	2 幕藩体制の成立と展開 3 近世社会のしくみ 4 近世の国家･社会の変容	・支配秩序の形成と身分制，貿易の統制と対外関係，学問・文化の発展などを基に，幕藩体制の確立，近世の社会と文化の特色を理解し、考察・表現する。 ・近世社会の特色について考える ・産業の発達，幕府政治の動揺，学問・思想の展開などを基に，幕藩体制の変容，生活と文化の特色，近代化の基盤の形成を理解し、考察・表現する。

履修条件・注意事項等	文系、ＬＡＣは世界史探究との選択。３年も日本史鍛錬を継続履修となるのでよく考えて選択すること。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年選択者（文系、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	学年	２年	履修対象	文系選択者・ＬＡＣ選択者
教科書・副読本	詳説世界史(山川出版)、史料集、一問一答、用語集、教科書準拠ノート								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 世界の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料を活用する技能を身に付けるようにする。 **思考力・判断力・表現力** 世界の歴史について、現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、課題の解決を目指す力や、考察や構想、議論する力を養う。 **主体的に学習に取り組む態度** 世界の歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	**知識・技能** 定期考査・課題考査 提出物 小テスト **思考力・判断力・表現力** 定期考査 グループワーク 発表・報告 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み グループ活動 提出物

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	世界史へのまなざし	・砂糖とコーヒーなど、身近なものを事例として、自らと世界史のつながりについて考察、発表する。
	第1章　文明の成立と古代文明の特質	・文明誕生の基礎について理解したあと、古代オリエント文明や南アジア文明、中国の古代文明、南北アメリカ文明について比較することで、理解を深める。
	第2章　中央ユーラシアと東アジア世界	・中央ユーラシアや、中国をはじめとする東アジア文化圏についてモノや人の伝播などを通したつながりを考察する。
	第3章　南アジア世界と東南アジア世界の展開	・南アジア世界や東南アジア世界について仏教やヒンドゥー教との関係を中心として考察し、現代とのつながりについてまとめる。
	第4章　西アジアと地中海周辺の国家形成	・ギリシャ・ローマ世界について、キリスト教なども通し、相違点・類似点について理解を深める。
２学期	第5章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	・イスラーム教の成立の経緯を理解し、またヨーロッパ世界の形成について、その特徴を多面的・多角的に考察する。
	第6章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向	・イスラーム化が中央アジア・南アジア、東南アジア、アフリカにもたらした変化について考察し、まとめる。
	第7章　ヨーロッパ世界の変容と展開	・西ヨーロッパの社会や文化について、東ヨーロッパ世界の展開と比較し、考察する。
	第8章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国	・10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を、モンゴル帝国の成立から解体までも視野に入れ、多面的・多角的に考察し表現する。
	第9章　大交易・大交流の時代	・モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解し、16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。
	第10章　アジアの諸帝国の繁栄	・オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国の興隆について類似点・相違点を念頭に多面的・多角的に考察し、また清代の中国と隣接諸地域について理解する。
３学期	第11章　近世ヨーロッパ世界の動向	・近世ヨーロッパ世界の動向について、宗教改革が多方面に与えた影響を考察し、表現する。
	第12章　産業革命と環大西洋革命	・産業革命やアメリカ独立戦争やフランス革命が与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。

履修条件・注意事項等	文系、ＬＡＣは日本史探究との選択。３年も世界史探究を継続履修となるのでよく考えて選択すること。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年選択者（文系、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	４単位	学年	２年	履修対象	理系全員、文系全員、ＬＡＣ選択者
教科書・副読本	『数学Ⅱ Advanced』（東京書籍），『PRIME 数学Ⅱ＋B』（東京書籍），『新課程チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟 **思考力・判断力・表現力** 数学を通じて、事象を数学的に考察し、数学的表現力を培う。 **主体的に学習に取り組む態度** 数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。	**知識・技能** 定期考査および小テスト **思考力・判断力・表現力** 授業ノート、提出課題 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み、発表等を総合的に判断

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	**1章　方程式・式と証明** 1節　整式の乗法・除法と分数式 2節　2次方程式 3節　高次方程式 4節　式と証明 **2章　図形と方程式** 1節　点と直線 2節　円 3節　軌跡と領域	・3次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し，簡単な場合について計算をすることができる。 ・事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。
2学期	**3章　三角関数** 1節　三角関数 2節　加法定理 **4章　指数関数・対数関数** 1節　指数関数 2節　対数関数	・三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができる。 ・三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 ・指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすることができる。
3学期	**5章　微分と積分** 1節　微分係数と導関数 2節　導関数の応用 3節　積分	・関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 ・微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。

履修条件・注意事項等	週末課題、復習課題、長期休業時の課題を丁寧に行い、提出する。 授業の確認問題、復習問題である小テストにはしっかり学習して取り組む。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年理系および文系、国際教養コース選択者

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	数学	科目	数学B	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	理系
教科書・副読本	『数学B Advanced』（東京書籍），『PRIME 数学Ⅱ＋B』（東京書籍），『新課程チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 数列，統計的な推測について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟 **思考力・判断力・表現力** 数学を通じて、事象を数学的に考察し、数学的表現力を培う **主体的に学習に取り組む態度** 数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。	**知識・技能** 定期考査および小テスト **思考力・判断力・表現力** 授業ノート、提出課題 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み、発表等を総合的に判断

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	**1章　数列** 1節　数列 2節　漸化式と数学的帰納法	・等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めることができる。 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。
２学期	**２章　統計的な推測** **１節　標本調査** **２節　確率分布** **３節　正規分布**	・漸化式について理解し，事象の変化を漸化式で表したり，簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 ・数学的帰納法について理解している。 ・標本調査の考え方について理解している。 ・確率変数と確率分布について理解している。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。
３学期	４節　統計的な推測	・目的に応じて標本調査を設計し，収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして，母集団の特徴や傾向を推測することができる。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。

履修条件・注意事項等	週末課題、復習課題、長期休業時の課題を丁寧に行い、提出する。 授業の確認問題、復習問題である小テストにはしっかり学習して取り組む。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年理系

令和５年度　シラバス

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	１単位	学年	２年	履修対象	文L選択者
教科書・副読本	『数学Ｂ Advanced』（東京書籍），『PRIME 数学Ⅱ＋B』（東京書籍），『新課程チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 数列について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟 **思考力・判断力・表現力** 数学を通じて、事象を数学的に考察し、数学的表現力を培う **主体的に学習に取り組む態度** 数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。	**知識・技能** 定期考査および小テスト **思考力・判断力・表現力** 授業ノート、提出課題 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み、発表等を総合的に判断

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	**1章　数列** 1節　数列	・等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めることができる。 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。
２学期	2節　漸化式と数学的帰納法	・漸化式について理解し，事象の変化を漸化式で表したり，簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。
３学期	2節　漸化式と数学的帰納法	・数学的帰納法について理解している。

履修条件・注意事項等	文系・ＬＡＣの生徒で、数学を受験に使うことを考えている人は、必ず選択すること。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年選択者（文系、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	１単位	学年	２年	履修対象	理系
教科書・副読本	『数学C Advanced』（東京書籍），『PRIME 数学C演習ノート』（東京書籍）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 ベクトルについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟 **思考力・判断力・表現力** 数学を通じて、事象を数学的に考察し、数学的表現力を培う **主体的に学習に取り組む態度** 数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。	**知識・技能** 定期考査および小テスト **思考力・判断力・表現力** 授業ノート、提出課題 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み、発表等を総合的に判断

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	１章　ベクトル 1節　平面上のベクトル	・ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察することができる。
２学期	2節　ベクトルの応用	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。
３学期	3節　空間におけるベクトル	・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 ・数学的表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。

履修条件・注意事項等	週末課題、復習課題、長期休業時の課題を丁寧に行い、提出する。 授業の確認問題、復習問題である小テストにはしっかり学習して取り組む。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年理系および選択者（文系、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科目	物理	単位数	３単位	学年	２年	履修対象	理系物理選択者
教科書・副読本	『総合物理１・２』（数研出版）、『リードα物理基礎・物理』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 自然現象を理解し、減少を量的な関係や、時間・空間的な変化から規則性を捉えることができる。 **思考力・判断力・表現力** 自然の規則性をもとに、実験観察に取り組み、結果から様々な考察ができる。また、それを様々な現象に応用できる。 **主体的に学習に取り組む態度** 自然の規則性の理解、現象に対する考察を主体的・科学的に探究することができる。	**知識・技能** 定期考査・小テスト・提出物等 **思考力・判断力・表現力** 定期考査・実験レポート・提出物等 **主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	力と運動 ・平面内の運動 ・剛体 ・運動量の保存	・速度は単位時間における変位であり，合成・分解ができることを理解する。 ・加速度は単位時間における速度変化であり，ベクトル量であることを理解する。 ・力と運動の関係を理解し，落体の運動について運動方程式を立てる。 ・剛体にはたらく力の効果は，大きさと向きのほかに，作用点の位置により決まることを理解する。 ・運動方程式から運動量の変化は力積に等しいことを導く。 ・運動量保存則をｘ成分とｙ成分に分解して考える。 ・反発係数を２物体の衝突の際の相対速度の比により定義する。
2学期	・円運動と万有引力 熱と気体 ・気体のエネルギーと状態変化 波 ・波の伝わり方	・等速円運動を半径，速さ，角速度，回転数，周期などを用いて表す。 ・円錐振り子や回転台の上の物体など，具体的な等速円運動の例について，どのような力が向心力の役目をしているか考える。 ・慣性系と非慣性系について理解する。 ・等速円運動をする物体の直径への正射影の運動が単振動であることを理解し，単振動の関係式を表す。 ・ケプラーの法則と運動方程式から万有引力の法則を導く。 ・気体分子の運動を力学的に扱って，気体の圧力の式を導く。 ・熱力学第一法則を用いて，気体の定積変化・定圧変化・等温変化・断熱変化について理解する。 ・波を表す要素である振幅，周期，振動数，波長，速さについて理解する。 ・波形上での同位相，逆位相の点の位置関係を把握する。
3学期	・音の伝わり方 ・光	・音波の反射・回折・干渉について理解する。 ・波源と観測者が相対的に運動しているときには，観測者が受け取る振動数は波源本来の振動数とは異なることを導く。 ・凸レンズと凹レンズを通る代表的な光線の進み方を作図する。 ・ヤングの実験について，明線，暗線の条件式を導き，隣り合う明線（暗線）の間隔を求める。 ・回折格子を用いた実験を行い，格子定数による干渉の違いを観察する。 ・薄膜による光の干渉について，薄膜による反射の際の位相の変化について理解する。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年選択者（理系：物理）

令和５年度　シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	国際教養コース
教科書・副読本	『高等学校　化学基礎』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め化学の基本的な原理・法則を理解する。 **思考力・判断力・表現力** 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。 **主体的に学習に取り組む態度** 目的意識をもって観察，実験などを行い，化学的に探究する能力と態度を育てる。	**知識・技能** 定期考査・小テスト・提出物等 **思考力・判断力・表現力** 定期考査・小テスト・提出物等 **主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第１編 物質の構成と化学結合	①　物質の構成 日常生活の中にある物質の成り立ちや現象を理解し、自身の考えを適切に表現できること。 ②　物質の構成粒子 身の回りの物質が原子やイオンからできており、その構造を理解し、物質に関わる現象などを表現できること。 ③　粒子の結合 物質によって粒子の種類や結合の仕方が異なることを理解し、物質の性質について表現できること。
2学期	第１編 物質の構成と化学結合 第２編 物質の変化	③　粒子の結合 ①　物質量と化学反応式 原子やイオンは非常に小さく、モルというまとめた単位で表すことを理解し、モルを元に物質の量や化学変化の量的な関係を、取り扱うことができること。 ②　酸と塩基の反応 酸・塩基の性質を理解するとともに、中和反応を考えたり、量的な関係を考察できること。
3学期	第２編 物質の変化	②　酸と塩基の反応 ③　酸化還元反応 酸化および還元の広い意味での定義を理解し、酸化還元反応およびその量的考えを表現できること。

履修条件・注意事項等	理工系の大学・学部や工業系専門学校への進学を希望する場合、入学試験で「化学基礎・化学」を受験する必要があります。進学希望先の受験科目を調べておきましょう。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年選択者（国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科目	化学	単位数	３単位	学年	２年	履修対象	理系全員
教科書・副読本	『化学』（数研出版）、『セミナー化学基礎＋化学』（第一学習社）、『フォトサイエンス化学図録』（数研出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め化学の基本的な原理・法則を理解する。 **思考力・判断力・表現力** 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。 **主体的に学習に取り組む態度** 目的意識をもって観察，実験などを行い，化学的に探究する能力と態度を育てる。	**知識・技能** 定期考査・小テスト・提出物等 **思考力・判断力・表現力** 定期考査・小テスト・提出物等 **主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第１編 物質の状態	④ 固体の構造 化学基礎で学習した物質の成り立ちをより深く理解し、種々の物質の性質を、構造から表現できること。 ⑤ 物質の状態変化 物質の状態を粒子レベルで理解し、様々な現象が起こることを、粒子の熱運動によって理解し表現できること。 ⑥ 気体 気体の法則を理解し、身の回りで起こる様々な変化について、法則を用いて表現できること。
2学期	第１編 物質の状態 第２編 物質の変化	⑦ 溶液 溶解の仕組みを知り、溶液における様々な現象を理解し、日常の中で起こる現象を、知り得た知識を用いて表現できること。 ③ 化学反応とエネルギー 化学反応や物理変化が起こるときの熱の出入りについて学び、その減少をエンタルピーを用いて表すことを理解し、身の回りに起こる現象を表現できること。 ④ 電池と電気分解 電池のはたらきや原理、電気分解の原理や応用を学習することによって、実用的な利用方法などを考え表現できること。 ⑤ 化学反応の速さと仕組み 反応速度について学び、速度を決定する要因について理解し、様々な化学反応に対して、考察・表現ができること。
3学期	第２編 物質の変化	⑥ 化学平衡 化学平衡について学び、どのような要因によって平衡が移動するかを理解し、種々の化学平衡について考察し、表現ができること。

履修条件・注意事項等	理工系の大学・学部や工業系専門学校への進学を希望する場合、入学試験で「化学基礎・化学」を受験する必要があります。進学希望先の受験科目を調べておきましょう。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年理系

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	学年	2年	履修対象	文系全員
教科書・副読本	高等学校　生物基礎（啓林館） ESSENCE NOTE 生物基礎(啓林館)、ニューステージ生物図表(浜島書店)								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 生物の多様性を踏まえつつ，生物に共通する概念や原理・法則を理解する。	**知識・技能** 定期考査・小テスト・提出物等
思考力・判断力・表現力 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。	**思考力・判断力・表現力** 定期考査・小テスト・提出物等
主体的に学習に取り組む態度 観察，実験を通して生物や生命現象を論理的に探究する能力と態度を育てる。	**主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第1編　生物の特徴 1章　生物の多様性と共通性 2章　生命活動とエネルギー 第２編　遺伝子とそのはたらき １章　生物と遺伝子	・生物の特徴の1つに挙げられる，多様性と共通性について学ぶ。 ・身のまわりの原核細胞・真核細胞を光学顕微鏡で観察しスケッチする。（実験） ・多くの生物の細胞には核が含まれているが，核がない生物も身近にいることを知る。 ・エネルギーと代謝の関係性とエネルギーの通貨としてはたらくATPについて学ぶ。 ・代謝には必ず酵素という触媒が関与していることを理解する。 ・光合成や呼吸に関して,エネルギーの変換について理解する。 ・共生説について学ぶ ・遺伝子の本体としてのDNAについて学ぶ。 ・DNAの抽出を行い，DNAを身近なものとしてとらえる。（実験）
2学期	２章　遺伝情報の分配 ３章　遺伝情報とタンパク質の合成 第３編　生物の体内環境の維持 １章　体内環境 ２章　体内環境の調節	・体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配について学ぶ。 ・体細胞分裂時の染色体の動きを光学顕微鏡で観察し，スケッチする。（実験） ・遺伝情報が、タンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。 ・体内環境を一定に保とうとする恒常性というしくみがあることを理解する。 ・体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などのはたらきを学ぶ。 ・自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを学ぶ。 ・ホルモンを分泌する内分泌腺と汗や消化液などを分泌する外分泌腺との構造上の違いについて学ぶ。 ・血糖値や体温の調節は，自律神経系と内分泌系がはたらきあうことで調節されていることを理解する。
3学期	３編　生物の体内環境の維持 ３章　免疫 第４編　生物の多様性と生態系 １章　植生の多様性と分布 ２章　気候とバイオーム	・自然免疫と適応免疫によって私たちの体が病原体などから身を守ることで，体内環境が維持されていることを学ぶ。 ・細胞性免疫のしくみを理解し，臓器移植などでの拒絶反応が生じてしまうことを理解する。また、体液性免疫のしくみと，抗体による抗原抗体反応によって抗原が無毒されるしくみを理解する。免疫応答に異常をきたすと，アレルギーや自己免疫疾患，エイズなどを発症することを理解する。 ・植生は，年降水量と年間平均気温によって決まることを理解する。 ・植生は普遍的なものではなく，時間とともにその環境に適応した植物からなる植生へと変化していることを理解する。

履修条件・注意事項等	

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	学年	２年	履修対象	理系生物選択者
教科書・副読本	高等学校　生物基礎（啓林館）セミナー生物基礎＋生物(第一学習社)、ニューステージ生物図表(浜島書店)								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 生物の多様性を踏まえつつ，生物に共通する概念や原理・法則を理解する。	**知識・技能** 定期考査・小テスト・提出物等
思考力・判断力・表現力 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。	**思考力・判断力・表現力** 定期考査・小テスト・提出物等
主体的に学習に取り組む態度 観察，実験を通して生物や生命現象を論理的に探究する能力と態度を育てる。	**主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第1編　生物の特徴 1章　生物の多様性と共通性 2章　生命活動とエネルギー	・生物の特徴の1つに挙げられる，多様性と共通性について学ぶ。 ・エネルギーと代謝の関係性とエネルギーの通貨としてはたらくATPについて学ぶ。 ・代謝には必ず酵素という触媒が関与していることを理解する。 ・光合成や呼吸に関して,エネルギーの変換について理解する。
	第２編　遺伝子とそのはたらき １章　生物と遺伝子 ２章　遺伝情報の分配 ３章　遺伝情報とタンパク質の合成	・遺伝子の本体としてのDNAについて学ぶ。 ・体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配について学ぶ。 ・体細胞分裂時の染色体の動きを光学顕微鏡で観察し，スケッチする。(実験) ・遺伝情報が、タンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。
	第３編　生物の体内環境の維持 １章　体内環境 ２章　体内環境の調節 ３編　生物の体内環境の維持	・体内環境を一定に保とうとする恒常性というしくみがあることを理解する。 ・体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などのはたらきを学ぶ。 ・自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを学ぶ。 ・血糖値や体温の調節は，自律神経系と内分泌系がはたらきあうことで調節されていることを理解する。
2学期	３章　免疫	・自然免疫と適応免疫によって私たちの体が病原体などから身を守ることで，体内環境が維持されていることを学ぶ。 ・細胞性免疫のしくみを理解し，臓器移植などでの拒絶反応が生じてしまうことを理解する。また、体液性免疫のしくみと，抗体による抗原抗体反応によって抗原が無毒されるしくみを理解する。
	第４編　生物の多様性と生態系 １章　植生の多様性と分布	・植生は，年降水量と年間平均気温によって決まることを理解する。
	２章　気候とバイオーム	・植生は普遍的なものではなく，時間とともにその環境に適応した植物からなる植生へと変化していることを理解する。
3学期		

履修条件・注意事項等	・理系選択科目であり、理学部生物学科や農学部、医療看護系大学進学を考えている者は履修が望ましい。 ・１～2学期は「生物」の2単位を使い、4単位として「生物基礎」の授業を進め、2単位の履修を2学期中間考査で終了する。2学期中間考査以降は「生物基礎」の授業は「生物」を行う。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	学年	2年	履修対象	理系物理選択者
教科書・副読本	高等学校　生物基礎（啓林館） ESSENCE NOTE 生物基礎(啓林館)、ニューステージ生物図表(浜島書店)								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 生物の多様性を踏まえつつ，生物に共通する概念や原理・法則を理解する。 **思考力・判断力・表現力** 図やグラフを用いて問題解決をしたり、実験を通して得られた結果を整理分析する。 **主体的に学習に取り組む態度** 観察，実験を通して生物や生命現象を論理的に探究する能力と態度を育てる。	**知識・技能** 定期考査・小テスト・提出物等 **思考力・判断力・表現力** 定期考査・小テスト・提出物等 **主体的に学習に取り組む態度** 授業にとりくむ姿勢、演習問題に前向きに取り組む姿勢等

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	第1編　生物の特徴 1章　生物の多様性と共通性 2章　生命活動とエネルギー 第２編　遺伝子とそのはたらき １章　生物と遺伝子	・生物の特徴の1つに挙げられる，多様性と共通性について学ぶ。 ・身のまわりの原核細胞・真核細胞を光学顕微鏡で観察しスケッチする。（実験） ・多くの生物の細胞には核が含まれているが，核がない生物も身近にいることを知る。 ・エネルギーと代謝の関係性とエネルギーの通貨としてはたらくATPについて学ぶ。 ・代謝には必ず酵素という触媒が関与していることを理解する。 ・光合成や呼吸に関して,エネルギーの変換について理解する。 ・共生説について学ぶ ・遺伝子の本体としてのDNAについて学ぶ。 ・DNAの抽出を行い，DNAを身近なものとしてとらえる。（実験）
2学期	２章　遺伝情報の分配 ３章　遺伝情報とタンパク質の合成 第３編　生物の体内環境の維持 １章　体内環境 ２章　体内環境の調節	・体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配について学ぶ。 ・体細胞分裂時の染色体の動きを光学顕微鏡で観察し，スケッチする。（実験） ・遺伝情報が、タンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。 ・体内環境を一定に保とうとする恒常性というしくみがあることを理解する。 ・体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などのはたらきを学ぶ。 ・自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを学ぶ。 ・ホルモンを分泌する内分泌腺と汗や消化液などを分泌する外分泌腺との構造上の違いについて学ぶ。
3学期	３編　生物の体内環境の維持 ３章　免疫 第４編　生物の多様性と生態系 １章　植生の多様性と分布 ２章　気候とバイオーム	・血糖値や体温の調節は，自律神経系と内分泌系がはたらきあうことで調節されていることを理解する。 ・自然免疫と適応免疫によって私たちの体が病原体などから身を守ることで，体内環境が維持されていることを学ぶ。 ・細胞性免疫のしくみを理解し，臓器移植などでの拒絶反応が生じてしまうことを理解する。また、体液性免疫のしくみと，抗体による抗原抗体反応によって抗原が無毒されるしくみを理解する。 ・植生は，年降水量と年間平均気温によって決まることを理解する。 ・植生は普遍的なものではなく，時間とともにその環境に適応した植物からなる植生へと変化していることを理解する。

履修条件・注意事項等	

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	理科	科　　目	生物	単位数	2
学年	2年	履修対象	理系選択者		
教科書・副読本等	生物（東京書籍）、セミナー生物、ニューステージ生物図表				
科目の到達目標	生物基礎との関連を図りながら，生物や生物現象を更に広範囲に取り扱い，生物学的に探求する能力と態度を身に付けさせる。また，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。	学習の評価の方法	授業ノート、提出課題、実験レポート、発表、定期考査等を総合的に評価する。		
履修の注意事項・選択	理系選択科目 理学部生物学科、農学部、看護医療系大学において入試科目に生物がある大学の受験を考えている者は、履修が望ましい。				

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	「生物基礎」編の継続 第４編　生物の多様性と生態系 ３章　生態系とその保全 「生物」編 第１編　生命現象と物質 １章　生体物質と細胞 ２章　タンパク質の構造と酵素	・生物多様性にはさまざまな価値があるため，その保全が重要であることを理解する。 ・生物の基礎である細胞がどのような物質でつくられ，どのような構造をもち，どのようなはたらきをするか学習する。 ・タンパク質の立体構造と酵素の働きを結び付けて理解する。 ・酵素の反応曲線と阻害物質や補酵素のはたらきを結び付けて理解する。
2学期	３章　細胞間の相互作用とタンパク質 ４章　代謝とエネルギー 第２編　遺伝子のはたらき １章　DNAの構造と複製 ２章　遺伝情報の発現 ３章　遺伝子の発現調節 ４章　バイオテクノロジー 第３編　生殖と発生 １章　生物の有性生殖 ２章　動物の発生 ３章　動物の発生のしくみの前半	・物質輸送や情報伝達，細胞構造の維持などの生命現象を支えるタンパク質の構造やはたらきについて学習する。 ・呼吸商の意味と呼吸基質による違いについて学ぶ。 ・細菌のような原核生物の電子伝達系と脱窒について学ぶ。 ・カルビン，ベンソンなどの研究者の力によって，光合成の仕組みが解明された歴史を学ぶ。 ・DNAの複製や遺伝子発現のしくみ，およびDNAの塩基配列変化に伴う突然変異について学習する。 ・遺伝子発現のしくみと細胞分化との関わりについて学習する。 ・バイオテクノロジーの技術の数々と応用面について学習する。 ・遺伝子組換えの際DNAのハサミとなる制限酵素について学ぶ。 ・同形配偶子，異形配偶子等の配偶子の種類について学ぶ。 ・連鎖と組換えを詳しく調べる手段として，検定交雑の手法と組換え価の計算方法について学ぶ ・動物の発生過程に伴う胚の変化と遺伝子発現について学ぶ。
3学期	「生物」編 ３章　動物の発生のしくみの継続 ４章　植物の発生 第４編　生物の環境応答 １章　動物の刺激の受容と反応	・両生類の胚の研究で明らかにされたしくみや遺伝子について学習する。 ・ショウジョウバエの初期発生をつかさどる遺伝子を学習する。 ・植物の生殖器官である花から種子ができて，発芽し葉・茎が分化するしくみを学習する ・刺激の受容から反応への情報の流れを学習し、神経系のはたらきを理解する。

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	全員
教科書・副読本	新高等保健体育（大修館）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 運動の多様性や体力の必要性について理解する能力 各運動の技能 **思考力・判断力・表現力** 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力 **主体的に学習に取り組む態度** 一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度	**知識・技能** 実技試験 **思考力・判断力・表現力** 各運動における競技力向上のための探究活動 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み グループ活動（試合形式やグループ練習）

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	A 体つくり運動	・自他の心と 体に向き合って，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，心と体をほぐしたり，体の動き を高める方法を学んだりすることができる。
	C 陸上競技	・自己の課題と体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。陸上競技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。
	D 水泳	・選択した泳法について、自己の改善すべきポイントを見付けることができる。健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。
	F 武道	・自己の技能・体力の程度に応じた得意技を見付けることができる。武道を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。
	G ダンス	・練習や動きを見せ合う発表などの際に、運動観察を通して仲間の課題を指摘したり、課題解決のアイディアを伝え合ったりしながら取り組むことができる。発表や仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘すること。
2学期	E 球技	・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶことができる。仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘することができる。
	H 体育理論	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。
3学期	C 陸上競技	・目標タイムを達成するペースを自己の技能・体力の程度に合わせて設定し、そのペースに応じたスピードを維持して走る。
	E 球技	・作戦などの話合いの場面で，合意を形成するための適切なかかわり方を見付けることができる。健康や安全を確保するために，体調に応じて適切な練習方法を選ぶことができる。球技を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付けることができる。

履修条件・注意事項等	学校指定体操服・水着の着用 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年全員（理系、文系、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	学年	２年	履修対象	全員
教科書・副読本	新高等保健体育、図説新高等保健								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 個人及び社会生活における健康・安全についての知識・技能 **思考力・判断力・表現力** 合理的、計画的な解決に向けての思考力、判断力 目的や状況に応じて他者に伝える力 **主体的に学習に取り組む態度** 明るく豊かで活力ある生活を営む態度	**知識・技能** 定期テスト **思考力・判断力・表現力** 授業ノート・探究活動 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み、発表等を総合的に判断

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	**３単元** **生涯を通じる健康** １思春期と健康 ２性意識の変化と性行動の選択 ３結婚生活と健康 ４妊娠・出産と健康 ５家族計画 ６加齢と健康	・思春期における心身の発達や性的成熟、健康課題について理解する。 ・自分の行動への責任感や異性への理解と尊重、性情報への適切な対処について理解する。 ・健康生活と健康の関係について理解する。 ・受精から出産の過程と健康課題、活用できる保健サービスについて理解する。 ・家族計画の意義や避妊法、人工妊娠中絶について理解する。 ・加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解する。
２学期	７高齢社会に対応した取り組み ８働くことと健康 ９労働災害の防止 １０働く人の健康づくり **４単元** **健康を支える環境づくり** １大気汚染と健康 ２水質汚濁・土壌汚染と健康 ３健康被害を防ぐための環境対策 ４環境衛生にかかわる活動 ５食品の安全性と健康	・高齢社会における健康課題や社会の取り組みについて理解する。 ・働くことの意義と働き方の多様化や人々の健康課題について理解する。 ・労働災害の要因や防止するための様々な取り組みについて理解する。 ・職場での健康づくり活動や働く人の生活の質の向上の重要性を理解する。 ・大気汚染による健康への影響や地球規模での大気汚染について理解する。 ・水質汚濁、土壌汚染による健康への影響を理解する。 ・環境汚染による健康への影響や産業廃棄物の処理や新たな環境汚染について考える。 ・上下水道の整備とごみ処理について現状と今後の課題を考察する。 ・食品の安全性の重要性を理解する。
３学期	６食品の安全性を確保する取り組み ７保健制度とその活用 ８医療制度とその活用 ９医薬品の制度とその活用 １０様々な保健活動や対策 １１誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	・食品の安全性を確保するための行政の働きや消費者の果たす役割について理解する。 ・保健行政の役割、保健サービスの適切な活用について理解する。 ・医療保険の仕組みや適切な活用方法について理解する。 ・医薬品の販売規制や使用法についての知識を理解する。 ・国際機関でのさまざまな保健活動について理解する。 ・健康の保持増進には環境づくりが重要であることを理解する。

履修条件・注意事項等	予習復習を必ず行う。 課題を忘れずにやる。 授業に集中し、主体的に取り組む。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年全員（理系、文系、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	選択者
教科書・副読本	ON！１（音楽之友社）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解する。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表す。	**知識・技能** 実技 ワークシート
思考力・判断力・表現力 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりする。	**思考力・判断力・表現力** 実技 ワークシート
主体的に学習に取り組む態度 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとする。	**主体的に学習に取り組む態度** 授業態度 提出物

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	歌唱	✓ 言葉や表現を大切にして、生き生きと歌えるようになる。 ✓ 正しい姿勢や発声の仕方を習得できるようなる。
	器楽	✓ 器楽の基本的奏法を身につけ、平易な曲のメロディーが弾けるようになる。
	楽典	✓ 音部記号や音名、音符や休符の種類を理解し、平易な楽譜が読めるようになる。
２学期	歌唱	✓ 諸外国のポップスに興味関心を持ち、意欲的に歌おうとする。
	器楽	✓ コードについて理解し、曲の伴奏ができるようにする。
	鑑賞	✓ 様々な形態や種類の曲を聴き、それらの特徴やよさに気づくことができるようにする。
３学期	歌唱	✓ 歌詞の意味や細かく指定された強弱の意図を感じとって歌えるようになる。
	器楽	✓ まわりの音を聴き、リズムやハーモニーを合わせられるようになる。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年選択者（理系、文系、国際教養コース）

令和５年度　シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	選択者
教科書・副読本	美術Ⅰ（光村図書）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 対象や事象を捉える造形的な視点について理解する。 表現方法を創意工夫し、創造的に表す。	**知識・技能** ワークシート
思考力・判断力・表現力 造形的なよさや美しさ、表現の工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	**思考力・判断力・表現力** 実技
主体的に学習に取り組む態度 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動を取り組める。	**主体的に学習に取り組む態度** 授業態度 提出物

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	アンケート	✓「無限」と「永遠」のイメージの違いを言葉や色で表したり、自分が見た不思議な夢の記憶や「自分が見ている世界と世界を見ている自分、どちらが大きい！？」等など、アートな自己紹介アンケートに答えて、美術科選択者の表現活動の導入とする。
	右脳デッサン １「手」を描く	ものを見る目（右脳）を鍛える訓練としてのデッサン ✓デッサン用鉛筆（６B）をカッターで削るところから始める。 ✓目が見ているのはモノではなく、光（明暗・色）であることに気づかせるため、先ずは画面を一旦薄黒くし、その色をベースに明るい色２色、暗い色２色計５色の諧調を描き分ける。 ✓輪郭線の問題で躓くことがないように、透明なアクリル板で、手のポーズを写し取る。 ✓画面のグレーグラウンドをベースの肌色とし、先ずは大きな明暗に注目し、だんだん光と影を丁寧に見分けることで形が浮かび上がってくることを理解する。
	２「３D トリックアート」	✓デッサンの手法を使った様々なトリックアートを見た上で、実際に描いてみてその効果を楽しむ。
2学期	一点透視図法	✓一通り透視図法（１点～３点）の描き方を習得し、一点透視シートを使った遠近感のある自由な作画に挑戦する。（「絵本」課題にも応用）
	絵本づくり	✓『えほん大賞』『「家やまちの絵本」コンクール』『手作り絵本コンクール』など各絵本コンクールへの出品を目指し、各々自由な発想でオリジナル絵本づくりに挑戦する。 ✓様々な絵本や絵本作家の紹介し、絵本作りに興味を持ち、絵の上手下手より自分なりの発想や何を見せたいか、伝えたいか？をはっきりさせた上で取り組ませる。 ✓色鉛筆・アクリル絵具・パステルなど、それぞれの画材の持ち味を生かして仕上げる。（特に色鉛筆は発色を強くすると、絵具に負けない色が出る…など）
3学期	立体造形（模刻）	✓粘土を使って、身近なモノを実物大、色も形もそっくり！を目指して作る。 ✓モチーフは美術室にある画材や道具類、野菜・果物、パン・お菓子などを用意する。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年選択者（理系、文系、国際教養コース）

令和５年度　シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	選択者
教科書・副読本	書道Ⅰ（東京書籍）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解する。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表せる。	**知識・技能** ワークシート
思考力・判断力・表現力 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえられる。	**思考力・判断力・表現力** 実技
主体的に学習に取り組む態度 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組める。	**主体的に学習に取り組む態度** 授業態度 提出物

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	用具・用材について	✓ 用具や用材の特徴を学び、表現効果を理解する。
	書体の変遷	✓ 身のまわりの生活の中でみられる書について、意義や効能を知る。
	楷書の学習	✓ 楷書の基本点画を確認し、用筆・運筆・字形を習得する。
	うちわ制作	✓ 習得した技法を生かして、全体の構成を構想し工夫する。
	行書の学習	✓ 行書の基本点画を確認し、用筆・運筆・字形を習得する。
2学期	仮名の学習	✓ 古筆の美しさを感受し、線質の表現を習得する。
	短冊制作	✓ 学習した古筆を題材として、和歌を選び表現する。
	大字仮名の学習	✓ 学習した仮名の筆法をもとに、半切に表現する。
	篆刻	✓ 「刻す」ことによる立体的表現を身につける。
	篆書の学習	✓ 篆書の基本点画を確認し、用筆・運筆・字形を習得する。
	年賀状制作	✓ 小筆の運筆を理解し、目的や用途に即し効果的に表現する。
3学期	隷書の学習	✓ 隷書の基本点画を確認し、用筆・運筆・字形を習得する。
	草書の学習	✓ 草書の基本点画を確認し、用筆・運筆・字形を習得する。
	小楷	✓ 小筆の運筆を理解し、古典の書体や書風に即し表現する。
	漢字仮名交じりの書	✓ 漢字と仮名の調和の方法を考え、自分の感性を表現する。
	半切まとめ	✓ これまで学習した漢字の学習をもとに、意図に基づいた表現を構想し、工夫する。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年選択者（理系、文系、国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科目	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	単位数	４単位	学年	２年	履修対象	文系・理系
教科書・副読本	『BLUE MARBLE English Communication II』（数研出版）、 『英単語・熟語Bricks２』（いいずな書店）、 『四訂版Listening Laboratory Standardα』（数研出版）、 『四訂版Listening Laboratory Standardβ』（数研出版）、 『Speaking Essentials 2』（啓隆社）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 英語の文章を読み、内容を正しく理解し、自分なりの考えを持つことができる。 **思考力・判断力・表現力** 英語を使って自分の考えを書く、話すなどして相手に伝えることができる。 **主体的に学習に取り組む態度** 英語に慣れ親しむべく音読を繰り返し練習し、新出の語彙に触れて語彙力を上げるなど前向きに授業に臨むことができる。	**知識・技能** 定期考査・課題考査 **思考力・判断力・表現力** 定期考査 発問評価・指名音読 グループワーク・発表・報告 **主体的に学習に取り組む態度** 授業態度 英単語小テスト 提出物

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	Lesson1 Leadership in Modern Times	現代社会において求められるリーダーシップとは何か、リーダーの持つべき技術、資質について考察し自分の意見を持つ。
	Lesson2 The Diversity of Traditional Houses	世界の伝統家屋の特徴と、それらが現在果たす役割について考え、将来における家屋様式について自分なりの意見を持つ。
	Lesson3 Improving society with Avatar Robots	社会の孤独を解消するためある男性が生み出した分身ロボットの話を通じて、今の生活の問題点について議論する。
	Lesson4 Approaches to Food Waste	食品ロスの現状と、自分たちにできる身近な取り組みを考え、世界中で起こっている飢餓問題の解決に向けて意見を持つ。
2学期	Lesson5 Animals as Indispensable Partners	われわれ人間のより良い暮らしと社会をサポートしてくれる動物の存在を通じ、動物と関わることによる利点について考察する。
	Lesson6 An Irish Poet on a Mission	翻訳を通して日本文学の美しさを世界に広めるアイルランド出身の詩人の生涯を通して、日本文学の魅力に迫る。
	Lesson7 Be Free from Gender Bias	身近に潜む男性・女性への偏見と、それをなくすための取り組みを知り、ジェンダーフリーな社会の実現のためにできることを考察する。
	Lesson8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees	難民保護に協力した「小さな巨人」、緒方貞子の信念を知り、難民紛争の背景、難民に対してできることは何か考察する。
3学期	Lesson9 Tackling Global Warming	地球温暖化の新しい対応策や、ジオエンジニアリングの利点、欠点を考える。
	Lesson10 Keys to Finding Happiness	「幸福」を自分で切り開く方法を科学的に考え、より幸せになるためにどうするべきであるか自分の意見を持つ。

履修条件・注意事項等	週４時間のうち１時間は ALT と合同で授業を行い、英語でのコミュニケーション活動を行う。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】２学年理系および文系

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科目	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	単位数	４単位	学年	２年	履修対象	国際教養ｺｰｽ
教科書・副読本	BLUE MARBLE English Communication II（数研出版） 『英単語・熟語Bricks２』（いいずな書店）、 『四訂版Listening Laboratory Standardα』（数研出版）、 『四訂版Listening Laboratory Standardβ』（数研出版）、								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 英語の文章を読み、内容を正しく理解し、自分なりの考えを持つことができる。 **思考力・判断力・表現力** 英語を使って自分の考えを書く、話すなどして相手に伝えることができる。 **主体的に学習に取り組む態度** 英語に慣れ親しむべく音読を繰り返し練習し、新出の語彙に触れて語彙力を上げるなど前向きに授業に臨むことができる。	**知識・技能** 定期考査・課題考査 **思考力・判断力・表現力** 定期考査 発問評価・指名音読 グループワーク・発表・報告 **主体的に学習に取り組む態度** 授業態度 英単語小テスト 提出物

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	Lesson1 Leadership in Modern Times	現代社会において求められるリーダーシップとは何か、リーダーの持つべき技術、資質について考察し自分の意見を持つ。
	Lesson2 The Diversity of Traditional Houses	世界の伝統家屋の特徴と、それらが現在果たす役割について考え、将来における家屋様式について自分なりの意見を持つ。
	Lesson3 Improving society with Avatar Robots	社会の孤独を解消するためある男性が生み出した分身ロボットの話を通じて、今の生活の問題点について議論する。
	Lesson4 Approaches to Food Waste	食品ロスの現状と、自分たちにできる身近な取り組みを考え、世界中で起こっている飢餓問題の解決に向けて意見を持つ。
2学期	Lesson5 Animals as Indispensable Partners	われわれ人間のより良い暮らしと社会をサポートしてくれる動物の存在を通じ、動物と関わることによる利点について考察する。
	Lesson6 An Irish Poet on a Mission	翻訳を通して日本文学の美しさを世界に広めるアイルランド出身の詩人の生涯を通して、日本文学の魅力に迫る。
	Lesson7 Be Free from Gender Bias	身近に潜む男性・女性への偏見と、それをなくすための取り組みを知り、ジェンダーフリーな社会の実現のためにできることを考察する。
	Lesson8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees	難民保護に協力した「小さな巨人」、緒方貞子の信念を知り、難民紛争の背景、難民に対してできることは何か考察する。
3学期	Lesson9 Tackling Global Warming	地球温暖化の新しい対応策や、ジオエンジニアリングの利点、欠点を考える。
	Lesson10 Keys to Finding Happiness	「幸福」を自分で切り開く方法を科学的に考え、より幸せになるためにどうするべきであるか自分の意見を持つ。

履修条件・	週４時間のうち１時間は ALT と合同で授業を行い、英語でのコミュニケー

注意事項等	ション活動を行う。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】２学年国際教養コース

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	全員
教科書・副読本	『APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Ⅱ』（開隆堂） 『APPLAUSE English logic and expression Ⅱ Workbook』（開隆堂） 『BrightStage英文法・語法問題』（桐原書店）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 各文法事項を理解し、適切に使うことができる。	**知識・技能** 小テスト・定期考査・課題考査 教科書のBasic Activity, Exercisesの問題を使って各文法事項の用法を理解し、適切に使うことができるかを評価する。
思考力・判断力・表現力 **各活動を通じて、場面に応じたやりとりができる。**	**思考力・判断力・表現力** 定期考査、課題考査 発問に対する返答、発表 実技・課題・定期考査 教科書のMain Acitivityの学習を通して、パートナーとやりとりができるかどうかを評価する。
主体的に学習に取り組む態度 各活動において、学習した内容を積極的に使おうとする。 間違いを恐れずに発言したり、積極的に質問をしたりする。	**主体的に学習に取り組む態度** **授業態度、提出物、小テスト** パフォーマンステスト 間違うことを恐れずに、対話をしているか、うまく言えないことがあっても別の語句や表現を使って言い換えたりするなどして対話を継続しようとしているか、またあいづちを打ったり質問をするなどして、相手の話を関心を持って聞いているか、について観察して評価する。

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	Lesson 1	・現在と過去を表す表現 現在形・過去形・進行形の用法を理解し、それらを使用して自分や周りの人について表現できる。
	Lesson 2	・未来を表す表現 未来を表すさまざまな表現の用法を理解し、それらを使用してこれから起こることなどを表現できる。
	Lesson 3	・助動詞 さまざまな助動詞の用法を理解し、それらを使用して人に頼みたいことなどを表現できる。
	Lesson 4	・完了形 さまざまな完了形の用法を理解し、それらを使用して将来の予測などを表現できる。
	Lesson 5	・受動態 さまざまな受動態の用法を理解し、それらを使用して、身の回りの物事について表現できる。
２学期	Lesson 6	・比較①（比較級、最上級） さまざまな比較級と最上級の用法を理解し、それらを使用して、データからわかることについて表現できる。
	Lesson 7	・比較②（同等比較、倍数比較など） 同等比較や倍数比較などのさまざまな用法を理解し、それらを使用して、データからわかることについて表現できる。
	Lesson 8	・動名詞 動名詞のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、物事の特徴について表現できる。
	Lesson 9	・to不定詞 to不定詞のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、自分の提案を理由もつけて表現できる。

	Lesson 10	・分詞 現在分詞と過去分詞のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、身の回りの物事について、詳しく表現できる。
３学期	Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14	・関係代名詞 関係代名詞のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、人や身の回りのものについて、詳しく表現できる。 ・関係副詞 関係副詞のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、紹介したい場所や時などを詳しく表現できる。 ・仮定法 仮定法のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、願望や助言などを表現できる。 ・特殊構文 無生物主語や強調構文を使った表現を理解し、それらを使用して、条件や理由、強調したいことなどを表現できる。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】２学年理系および文系

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	国際教養コース
教科書・副読本	『APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Ⅱ』（開隆堂） 『APPLAUSE English logic and expression Ⅱ Workbook』（開隆堂） 『BrightStage英文法・語法問題』（桐原書店）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 各文法事項を理解し、適切に使うことができる。	**知識・技能** 小テスト・定期考査・課題考査 教科書のBasic Activity, Exercisesの問題を使って各文法事項の用法を理解し、適切に使うことができるかを評価する。
思考力・判断力・表現力 各活動を通じて、場面に応じたやりとりができる。	**思考力・判断力・表現力** **定期考査、課題考査** **発問に対する返答、発表** 実技・課題・定期考査 教科書のMain Acitivityの学習を通して、パートナーとやりとりができるかどうかを評価する。
主体的に学習に取り組む態度 各活動において、学習した内容を積極的に使おうとする。 間違いを恐れずに発言したり、積極的に質問をしたりする。	**主体的に学習に取り組む態度** **授業態度、提出物、小テスト** パフォーマンステスト 間違うことを恐れずに、対話をしているか、うまく言えないことがあっても別の語句や表現を使って言い換えたりするなどして対話を継続しようとしているか、またあいづちを打ったり質問をするなどして、相手の話を関心を持って聞いているか、について観察して評価する。

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	Lesson 1	・現在と過去を表す表現 現在形・過去形・進行形の用法を理解し、それらを使用して自分や周りの人について表現できる。
	Lesson 2	・未来を表す表現 未来を表すさまざまな表現の用法を理解し、それらを使用してこれから起こることなどを表現できる。
	Lesson 3	・助動詞 さまざまな助動詞の用法を理解し、それらを使用して人に頼みたいことなどを表現できる。
	Lesson 4	・完了形 さまざまな完了形の用法を理解し、それらを使用して将来の予測などを表現できる。
	Lesson 5	・受動態 さまざまな受動態の用法を理解し、それらを使用して、身の回りの物事について表現できる。
2学期	Lesson 6	・比較①（比較級、最上級） さまざまな比較級と最上級の用法を理解し、それらを使用して、データからわかることについて表現できる。
	Lesson 7	・比較②（同等比較、倍数比較など） 同等比較や倍数比較などのさまざまな用法を理解し、それらを使用して、データからわかることについて表現できる。
	Lesson 8	・動名詞 動名詞のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、物事の特徴について表現できる。

	Lesson 9 Lesson 10	・to不定詞 to不定詞のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、自分の提案を理由もつけて表現できる。 ・分詞 現在分詞と過去分詞のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、身の回りの物事について、詳しく表現できる。
3学期	Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14	・関係代名詞 関係代名詞のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、人や身の回りのものについて、詳しく表現できる。 ・関係副詞 関係副詞のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、紹介したい場所や時などを詳しく表現できる。 ・仮定法 仮定法のさまざまな用法を理解し、それらを使用して、願望や助言などを表現できる。 ・特殊構文 無生物主語や強調構文を使った表現を理解し、それらを使用して、条件や理由、強調したいことなどを表現できる。
通年	エッセイライティング	英文でのエッセイの書き方を学習する。実際に与えられた題材について自分の考えをまとめ、エッセイのルールに基づいて英文を書く。最終的には、自分で研究テーマを決め、アカデミックエッセイを完成させることを目標とする。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】２学年国際教養コース

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科目	フランス語Ⅰ	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	国際教養ｺｰｽ選択者
教科書・副読本	新装カフェ・フランセ　朝日出版								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 フランス語とはどのような言語なのかということを体系的に理解できる。 **思考力・判断力・表現力** 学習したフランス語の語彙・文法を適切に使って相手に伝達することができる。 **主体的に学習に取り組む態度** フランス語を学ぶことを通じて、フランスやフランス語圏文化にも関心を持ち、理解しようとすることができる。	**知識・技能** 定期考査・小テスト **思考力・判断力・表現力** 定期考査、インタビュー、プレゼンテーション、 グループワーク **主体的に学習に取り組む態度** 授業態度 ワークシート 提出物

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	introduction Leçon1 Leçon2 Leçon3	つづり字 アルファベット あいさつ 数字１～２０ 自己紹介　名前 自己紹介　～に住んでいます。 自己紹介　国籍と否定形 カフェで注文をする。 身の回りの単語　①
２学期	Leçon4 Leçon5 Leçon6 Leçon7 Leçon8・9・10	身の回りの単語　② 名詞の性と数 自己紹介　年齢・兄弟 人物を描写する。 自己紹介　自分の見た目・性格 物の位置 自己紹介　好みを言う。 色・天気・月・曜日 フランスの年間行事 部分冠詞
３学期	まとめ	フランス語圏＝フランコフォニーについて

履修条件・注意事項等	ALT と合同で授業を行い、フランス語でのコミュニケーション活動を行う。 【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】２学年選択者（国際教養コース）

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科目	ロジカルイングリッシュ	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	一般クラス 国際教養コース選択者
教科書・副読本	プリント、視聴覚教材など								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 英語を聞くこと、話すこと、書くことを通して、言語やその運用についての知識を身につける。 **思考力・判断力・表現力** 情報を整理し、考えや、伝えたいことを場面に応じて論理的に英語で表現する。 **主体的に学習に取り組む態度** 英語を聞く、話す、書く活動を積極的に行い、コミュニケーションをとろうとする。	**知識・技能** 小テスト・定期考査（Ａ） 学習した表現・技術などを正しく使えるかを評価する。 **思考力・判断力・表現力** 実技・課題（Ｂ） ペアやグループ活動での取り組みを評価する。 **主体的に学習に取り組む態度** パフォーマンステスト（Ｃ） スピーチ、プレゼンテーションなどの取り組みを評価する。

期間	単元	主な学習活動（指導内容）
１学期	Lesson 1	・Picture Describing(1) 描写クイズ、描写して伝える
	Lesson 2	・Picture Describing(2) ストーリーを想像して伝える
	Lesson 3	・Movie Describing(1) ストーリーを描写して伝える ・Movie Describing(2) 即興の発表
２学期	Lesson 4	・Summary Making(1) 文章を読んで要約を作る練習
	Lesson 5	・Summary Making(2) 文章を読んで要約を作る ・Picture & Movie Presentation ストーリーを説明し、理由・感想を追加する
	Lesson 6	・Situation Discussion(1) 話し合って結論を導く練習
	Lesson 7	・Situation Discussion(2) 発表 ・Taking Notes 英文を読み、聞き、または映像を見てメモを取る
３学期	Lesson 8	・Cooking Recipe 映像を見て要約する
	Lesson 9	・Teaching a Skill 効果的なプレゼンテーション

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団１】２学年選択者（文系） 【評価母集団２】２学年選択者（国際教養コース）

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	外国語	科目	ディベート	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	国際教養コース選択者
教科書・副読本	プリント、視聴覚教材など								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 英語を聞くこと、話すこと、書くことを通して、言語やその運用についての知識を身につける。 **思考力・判断力・表現力** 情報を整理し、考えや、伝えたいことを場面に応じて論理的に英語で表現する。 **主体的に学習に取り組む態度** 英語を聞く、話す、書く活動を積極的に行い、コミュニケーションをとろうとする。	**知識・技能** 小テスト・定期考査 学習した表現・技術などを正しく使えるかを評価する。 **思考力・判断力・表現力** 実技・課題 ペアやグループ活動での取り組みを評価する。 **主体的に学習に取り組む態度** パフォーマンステスト ディベートの取り組みを評価する。

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
１学期	立論	・立論を作る力を身につける 「立論」について「現状分析」「影響」「重要性」の３点を理解し、表現できるようにする。
	尋問	・尋問する力を身につける 効果的な尋問方法について学び練習する。
	アタック	・アタックする力を身につける アタックの５つのフォーマットについて学習する。
	実践①	・ディベート実践① 立論⇒尋問⇒アタックまでを行う。
２学期	ディフェンス	・ディフェンスする力を身につける 相手のアタックの種類によって異なるディフェンスパターンを学習する。
	実践②	・ディベート実践② 立論⇒尋問⇒アタック⇒ディフェンスまでを行う。
	サマリー	・サマリーを作る力を身につける ディベート全体の流れをまとめてジャッジにアピールする練習をする。
	実践③	・ディベート実践③ 立論⇒尋問⇒アタック⇒ディフェンス⇒サマリーまでを行う。
３学期	実践④	・ディベート実践④ ディベート学習の総まとめとして、全国高校生英語ディベート大会の論題を使用してディベートを行う。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】２学年選択者（国際教養コース）

令和５年度　シラバス

教科	家庭	科目	ライフデザイン	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	文系
教科書・副読本	『資料集これであなたもひとり立ち　自立のためのワークブック』（金融広報中央委員会）、『最新生活ハンドブック資料＆成分表』（第一学習社）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 ・主体的に生活を営むために必要な技術を総合的に身に付け、情報を収集・整理し，検討することができる。自分らしく生きるために目標を持ち，生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さを理解している **思考力・判断力・表現力** ・自分を見つめ，肯定的な自己概念をもち，自分の人生や進路について考えを深め，具体的にまとめている。社会の一員として，共生社会を実現するために何ができるか考え，工夫している。 **主体的に学習に取り組む態度** ・学習内容に関心を持ち，主体的に学習に取り組もうとしている。 ・自分や家族の生活に関心をもち，意欲的に日常生活の改善・向上に努めようとしている。 ・体験実習や実験などに，積極的に取り組もうとしている。	**知識・技能** 定期考査　製作物 提出物 **思考力・判断力・表現力** 探究活動　発表 定期考査 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み グループ活動 作品製作や実習レポートなどの取り組み

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	家庭経済 1 収入と支出 2 社会保障制度 3 現代の消費行動 4 労働と生活時間 社会福祉 1 共生について 2 ボランティア	・家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。 ・インターネットでの売買など、現代の問題を考える。 ・職業労働・家事労働の意義について学ぶ。 ・資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できるようにする。 ・さまざまな状況の人が協力して生活する社会を理解し、自分には何ができるかを考える。 ・定期考査・レポートと授業への取り組みによって評価する。
2学期	住生活 1人と住まいの関り 2住まいの計画 3健康的な住まい環境 衣生活 1衣生活の管理 2衣生活の資源環境	・住まいの機能・快適な室内環境についての要素を含めて理想の住居を計画することができるようになる。 ・家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解する。 ・洗濯やドライクリーニングについて学ぶ。 ・洗剤による水の環境汚染について考える。 ・フェアトレードについて考える。 ・定期考査・レポートと授業への取り組みによって評価する。
3学期	食生活 1食事の計画と調理 2これからの食生活を考える 3調理実習 保育 1子どもの発達	・バランスのとれた食事計画ができるようになる。 ・保存食や伝統的な食品を使った実習を考える。 ・実習を通して調理技術を向上させる。 ・子どもの心身の発達と特徴について学習する。 ・定期考査・レポートと授業への取り組みによって評価する。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝４：４：２ 【評価母集団】２学年文系

兵庫県立宝塚西高等学校

令和５年度　シラバス

教科	情報	科目	情報デザイン	単位数	２単位	学年	２年	履修対象	文系選択者
教科書・副読本	『情報デザイン』（実教出版）、『IT・Literacy情報デザイン編』（日本文教出版）								

育成する資質・能力	評価の方法
知識・技能 コンピュータによるデザインに関する基礎的な知識と技術を身につける。 **思考力・判断力・表現力** 情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につける。 **主体的に学習に取り組む態度** 問題意識，美的判断力，情報活用能力，企画・計画力を身につけ，上質なデザインを創造し，応用する能力と態度を育てる。	**知識・技能** 小テスト 課題製作 **思考力・判断力・表現力** グループワーク 課題製作 発表 **主体的に学習に取り組む態度** 授業への取り組み グループワーク 課題製作

期間	単元	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント
1学期	デザイン・情報・造形の基礎	✓ デザインが人間生活のさまざまな目的を達成するための合目的行為であることを理解する。 ✓ アイデアとは目的を果たすための工夫であると認識し、目的意識を持って現状を観察し、問題点を分析するプロセスを経てアイデアを出し合い、グループワークを通して思考を活性化していくことを理解する。 ✓ 有意義なデザインにするためには、見た目のよさだけにとらわれるのではなく、倫理観や社会的意識をもって、社会に及ぼす影響を考慮する姿勢が大切であることを理解する。 ✓ 人間どうしのコミュニケーションのはじまりはシンボルを共有するところから発展していったことを理解する。 ✓ 絵文字から表音文字、粘土板から紙、印刷技術による情報の伝達と共有が、人類に大きな力を与えていったことを理解する。 ✓ 情報が溢れる時代のなかで、情報の受け手としては必要な情報を選択し、送り手としてはわかりやすく表現し伝えることが必要であることを理解する。 ✓ コミュニケーションモデルを理解し、表現の文脈に込められたメッセージを読み解く姿勢、送り手と受け手の間でどのような体験を共有できるかに配慮する姿勢が大切であることを理解する。
1学期 2学期	デザインと表現	✓ 造形の基礎となる５つの要素（形態・色・材質感・空間・時間）を分析し，把握する。 ✓ 基本形態（純粋形態）として点・線・面さらには立体・空間の造形的意味を理解する。 ✓ 色と光の関係、光の三原色、色料の三原色，色の三属性を理解する。 ✓ 材質感がさまざまな面で造形的効果にかかわることを理解する。 ✓ 造形物が内包する空間だけでなく、造形物を取り巻く空間、造形物と見る者との間の空間もまたデザインする上で考慮すべき要素であることを理解する。 ✓ 造形要素を時間的に変化させることで動きが表現され、そこからリズムなど時間的効果が生まれることを理解する。 ✓ 眼に見える物体だけではなく、人々の行動や社会現象など意識しないと見えてこない事象も観察の対象であることを理解する。

		✓ 自然物や人工物など対象物の構造や特徴を把握し，簡潔に表現するプロセスを理解する。 ✓ さまざまな表現技法を実験し、新たな表現方法を探る。 ✓ 変化や違いを見せるにはグラフ、見つけやすくするには一覧表、というようにデータから読み取れる意味、伝えるべき意味を判断して、受け手が理解しやすい適切なスタイルで表現すべきであることを理解する。
	デザインの実際	✓ 人々に行動を促す宣伝活動としてのプロモーション・デザインをとおして，デザインの重要性とその効果を理解する。
3学期	情報デザイン演習	✓ 情報をよりよく理解してもらうための工夫のひとつとしてのインフォメーション・デザインの意義を理解する。

履修条件・注意事項等	【観点別評価】（知識・技能）：（思考力・判断力・表現力）：（主体的に学習に取り組む態度）＝３：４：３ 【評価母集団】２学年選択者（文系）